

株主の皆様へ

第136期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



株式会社 西島製作所

証券コード：6363

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび当社第136期中間決算(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)を終えましたので、ここに第136期中間報告書をお届け申し上げます。

また、中間配当金につきましては、1株当たり9円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 12 月

代表取締役社長 原田耕太郎

トリシマのマスコット
トリボン



事業内容

西島製作所は、1919年に創業したポンプのパイオニア。

お客様のご満足を最優先に、多様化、高度化するニーズに応え、ポンプを通して社会に貢献してきました。これからも、より豊かなサステイナブル社会の実現に貢献するため、ハイテクポンプを中心とした4つの事業を展開し、長年の経験とノウハウを活かした製品・技術・サービスにおいて、安全・安心、省エネソリューションを提供していきます。

HIGH-TECH PUMPS

ハイテクポンプ 事業

発電や海水淡水化、化学、上下水道、一般産業などのプラントの高度化・多様化するニーズにお応えするポンプを開発・提供しています。また、『ポンプdeエコ』をスローガンに高効率ポンプでプラントの省エネに貢献しています。



PROJECTS

プロジェクト 事業

ポンプ単体の提供だけでなく、ポンプ設備全体の EPC（設計・調達・建設）を行うコントラクターとして、上下水道、かんがい、排水などのインフラ整備・拡充にも貢献しています。



SERVICE SOLUTIONS

サービス 事業

ポンプ設備をより長く、効率的にお使いいただくために、通常のメンテナンス業務だけでなく、ポンプが最大限の性能を発揮できるよう、様々なケースに応じた最適なソリューションを提案しています。



RENEWABLE ENERGY &
ENVIRONMENT

新エネルギー・環境 事業

風力発電や小水力発電の導入に関し、設計・施工・メンテナンスに至るまで、総合的にお客様をサポートし、再生可能エネルギーの利用による低炭素社会への転換に貢献しています。





森永製菓 小山工場での 「ポンプdeエコ」事例

メカニカルシールを装備した エコポンプで 省エネと安心・安全を実現!

森永製菓株式会社 小山工場（栃木県）は、キョロちゃんのキャラクターで大人気の「チョコボール」をはじめ、「ミルクキャラメル」や「エンゼルパイ」「ガトーショコラ」など数々のヒット商品を製造しています。商品の製造工程を見学できる工場見学会も大人気。



森永製菓の小山工場ですべてエコポンプを導入していただいたのは今から5年前。当時、クーリングタワー用の冷却水ポンプ（他社製）から異音がしたり、軸封部のグランドパッキンからの漏れが多かったりと老朽化が進んでいたことから省エネとは関係なくポンプの更新を検討されていました。そのとき、当社のエコポンプを知り、トライアル機として2台を導入されたところ、異音や軸封部からの漏れが無くなったことはもちろん、既設ポンプと比較して消費電力量を各28.7%と18.7%削減という好結果が出ました。この省エネ結果を評価され、他の11台のポンプも当社エコポンプに交換いただきました。

省エネ効果が一目瞭然「省エネ提案書&報告書」

現在、小山工場ではポンプだけでなく工場内のボイラやコンプレッサなど様々な設備を更新し、工場の省エネ化に取り組みられています。これら設備の更新を検討する際、省エネ効果が期待できることはもちろん、その効果を具体的な数値でわかりやすく説明した資料がないとなかなか申請が通らないとのことでした。

当社は「ポンプdeエコ」をスローガンに掲げ、その活動の一環として、実際に現場で機器の測定を行い、その測定結果に基づき省エネ提案書を作成・提供しています。この提案書には、エコポンプ導入前後の消費電力量やCO₂削減量、削減コストなどを数値やグラフでわかりやすく説明しているので、ポンプの更新を決める

小山工場では合計13台の
エコポンプが活躍中！



判断材料として多くのお客様に有効に活用いただいています。また、安心してポンプを導入していただくために、エコポンプ導入後も機器の測定を実施し、省エネ結果報告書を提出しています。



省エネ結果報告書

メカニカルシールで労力も省エネ化

小山工場で以前使用されていたポンプには、軸封部にグランドパッキングが採用されていました。グランドパッキングでの漏水量が過多になっては、新しいものを詰め直すというメンテナンス作業が年に数回もありましたが、軸封部にメカニカルシールを標準装備しているトリシマのエコポンプに取り替えてからは、この5年間は1度も交換せずに済んでいるとのことでした。また、冬場はグランドパッキングから漏れた水が路面で凍ってしまい滑り、転んで労災につながる恐れがありました。以前は点検を頻繁に実施しないとイケませんでした。その手間もなくなり、維持管理がとても楽になると同時に安全性の向上にもつながったことを評価いただいています。

メカニカルシール



- ・漏れ量：極少
- ・メンテフリー
- ・長寿命

グランドパッキング

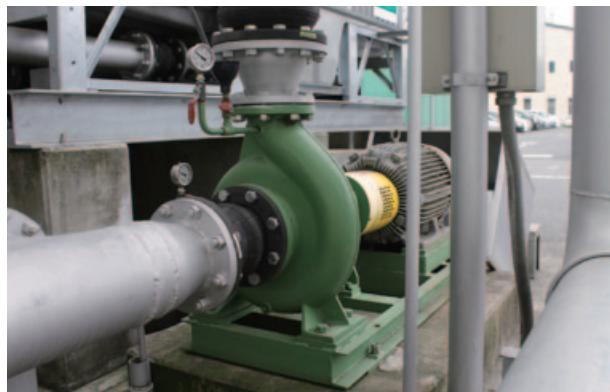


- ・漏れ量：多い
- ・増し締めや交換が都度必要

グランドパッキングは揚液の漏れが多く、増し締めや交換というメンテナンスの周期が短いですが、メカニカルシールは揚液の漏れがほとんどないため、メンテナンスも不要かつポンプ周辺の環境をクリーンに保てます。また、グランドパッキングより長寿命です。

トリシマはポンプ専門メーカーとして約70年前からメカニカルシールの研究開発・製造を行っており、ポンプに適したメカニカルシールの提供に自信を持っています。

今後も更なる省エネ、安全な設備環境を実現できるよう、しっかりサポートさせていただきます。

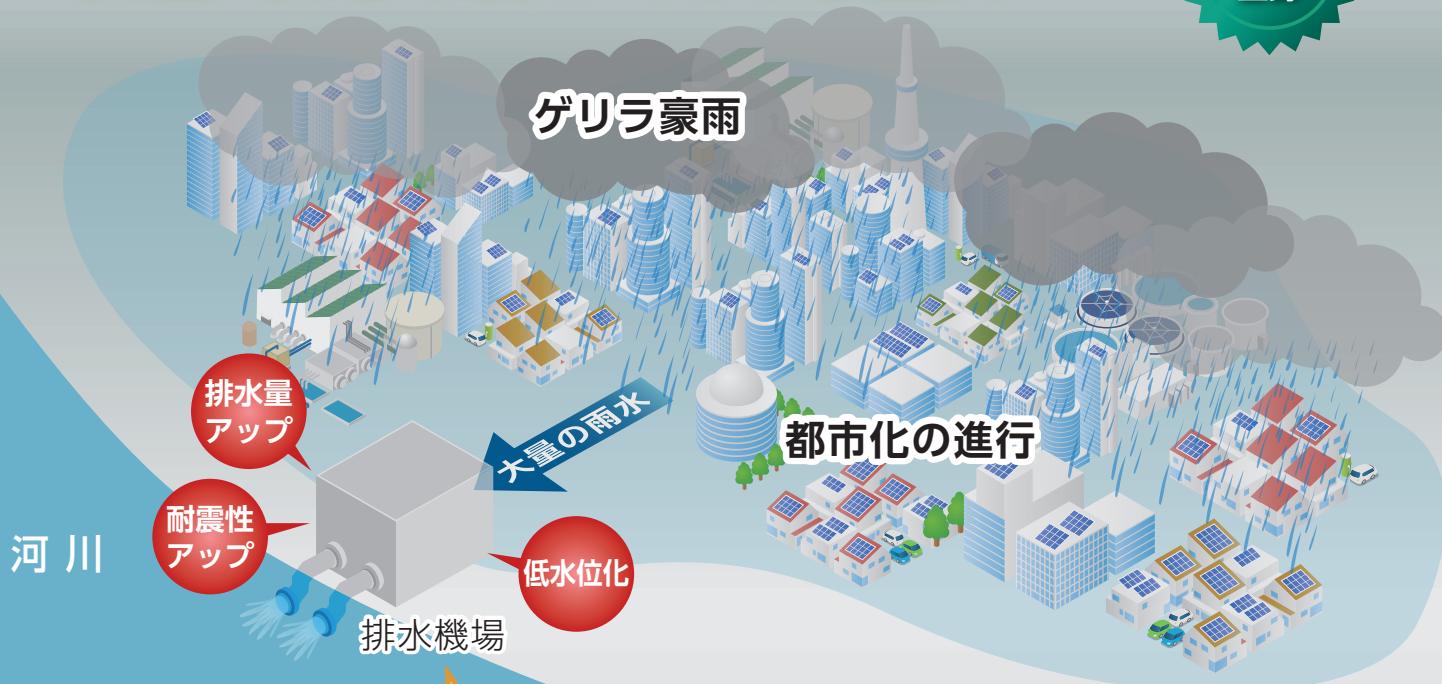


クーリングタワー用冷却水ポンプ

ポンプ性能に悪影響を及ぼす **渦の発生** を
ポンプ本体(渦防止装置)で防止し、
安全・安心な街づくりに貢献!

特許

NETIS[※]
登録



近年の都市化の進行やゲリラ豪雨の発生などにより、排水機場には大量の雨水が短時間で流れ込んでくる傾向があります。そのため、大容量ポンプへの取り替えや増設を行うケースが増えてきています。

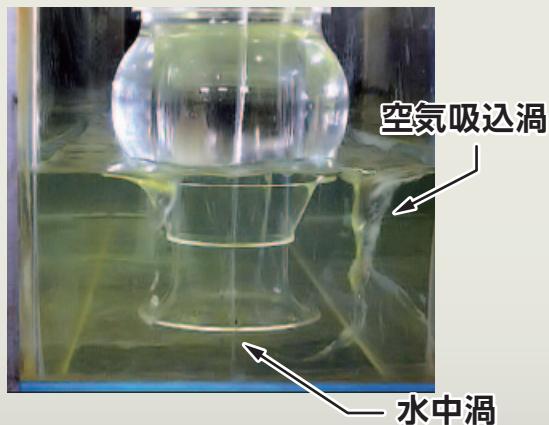
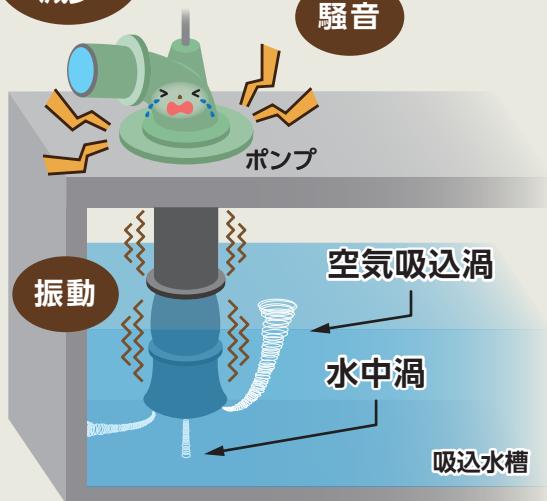
ところが、既存水槽の形状や寸法がそのままポンプの容量をアップすると、水槽内で「渦」が発生してしまいます。この渦は、吐出し量の減少や振動、騒音などポンプ性能に悪影響を及ぼす原因になります。

本技術により、「渦」の発生をポンプ本体で防止でき、排水機場の耐震性向上、低水位化などにもつながり、安全で安心した暮らしを支えます。また、排水機場更新におけるコスト削減、安全性向上も図れます。

渦の対策：なし

吐出し量
減少

騒音

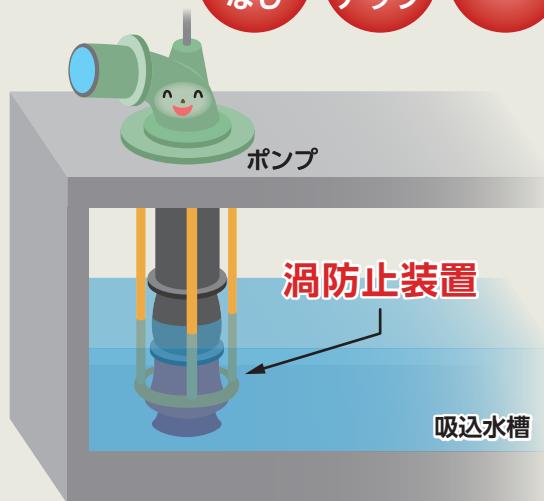


渦の対策：あり

渦の発生
なし

耐震性
アップ

低水位化



本技術による渦対策の活用例

① 渦流防止板（土木構造物）が不要

排水量をアップした際、従来の渦対策である渦流防止板が不要になることから、危険を伴う工事もなくなります。

また、工事費削減、工期短縮にもつながります。

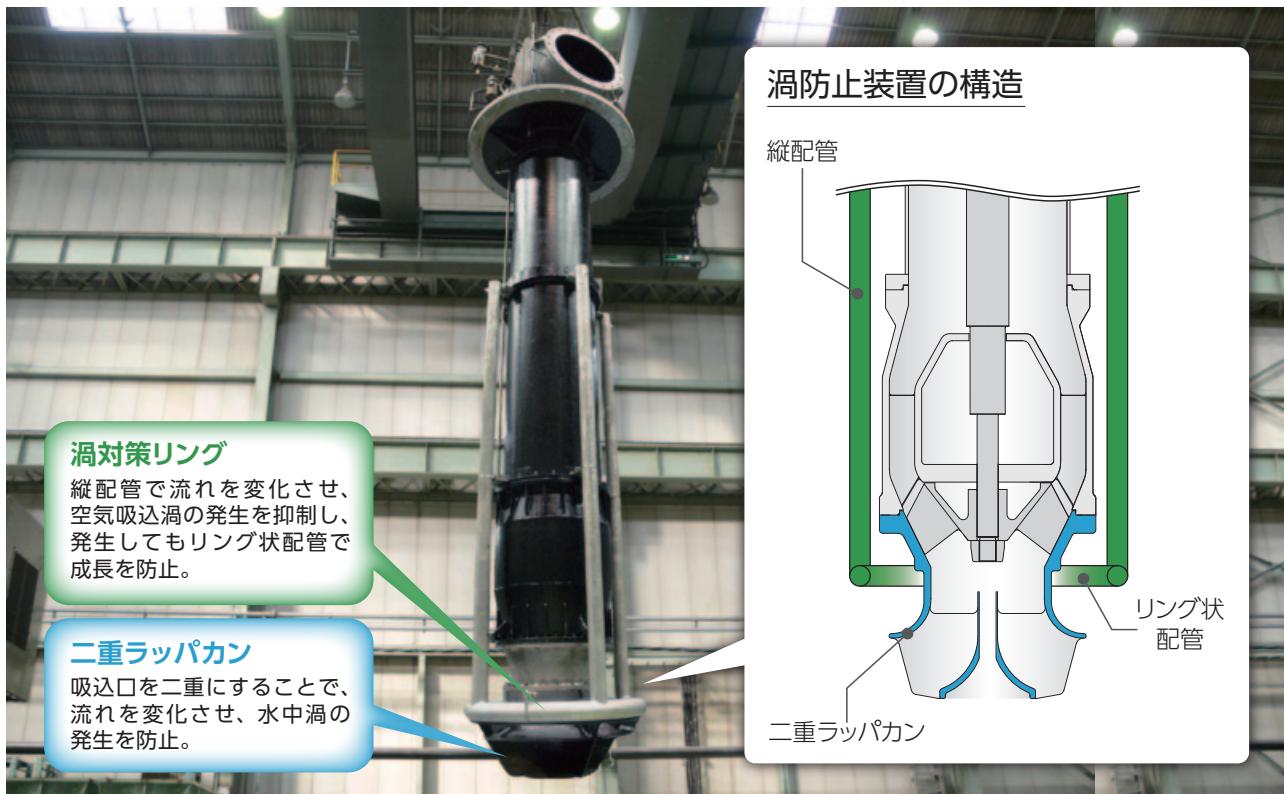
② 排水機場の耐震性アップ

ポンプ停止水位を変更せずに、吸込水槽の底板を厚くする耐震対策が可能です。

③ 流入路の低水位化が可能

ポンプの運転可能水位を下げることで、周辺地域の浸水被害を軽減します。

『渦防止装置』について



(同じ条件での検証例)

本技術の効果が認められ、
全国の自治体で採用が
増えています!

(東京都、大阪府、
熊本県、名古屋市 など)



平成28年度 大阪府障がい者雇用貢献企業（ハートフル企業）顕彰 「ハートフル企業教育貢献賞」を受賞

大阪府が実施する平成28年度「障がい者雇用貢献企業（ハートフル企業）顕彰」において、支援学校生徒の職場実習受け入れや雇用、職業教育への貢献が顕著であると認められ「ハートフル企業教育貢献賞」を受賞しました。

当社は、平成22年から支援学校卒業生の受け入れを開始しており、平成28年9月現在、25名の障がい者を雇用しています（障がい者雇用率は法定雇用率を上回る2.69%を達成しています）。また、当社は、障がい者の雇用や就労支援に積極的に取り組む企業として「大阪府障がい者サポートカンパニー（優良企業）」にも認定されています。

自立支援の重要性と当社の社会的使命を認識し、今後も、障がいの有無にかかわらず、誰もがイキイキと働くことのできる職場環境づくりに努めます。

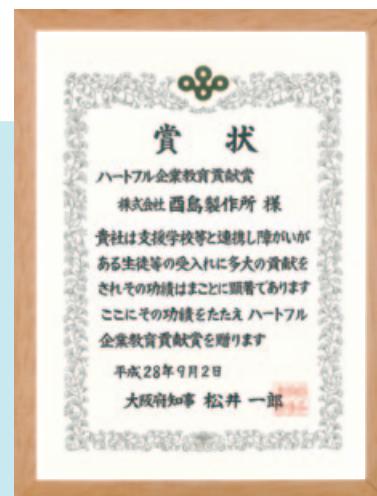


もずやん
(大阪府広報副知事)

写真左：松井大阪府知事
右：津組大阪府商工労働部長
中：吉川人事担当部長（当社）

受賞ポイント

- 支援学校から毎年多数の職場実習を受け入れ、複数名の採用を継続（平成22年から計19名の生徒を採用）。
- 既存業務での雇用が難しい知的障がいのある生徒を採用する際は、障がい者の目線で仕事を準備（従業員の作業服を無料で洗濯するチームの立ち上げ）。
- 障がい者が自立できるよう、人事部の担当者と障がいのある社員及び保護者との日誌交換を行いながら、褒めて育てる指導で将来への夢や希望を育む雇用を実現。



営業の概況

経営成績

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては、雇用情勢が改善し個人消費を中心に緩やかな回復基調にありましたが、欧州においては、英国のEU離脱問題や金融システムに関する不安などから経済の先行きに不透明感が生じています。また、中国や新興国経済の成長鈍化、中東の情勢不安に起因する世界的な地政学リスクの増大などにより、全体的として下振れリスクを含んだまま推移しました。

わが国の経済においては、官公需の増加や雇用情勢の改善が続いていますが、円高による輸出企業の収益の下振れ、インバウンド需要の落ち込みなどからデフレマインドはなかなか払拭されず、景気の回復は足踏み状態にとどまりました。

このような状況下、当ポンプ業界は、長期的には、人口増加による水資源を中心としたインフラ整備や、エネルギー関連需要に底堅い動きがありますが、短期的には、原油価格の低迷に伴う海外での関連プロジェクトの停滞、世界経済の先行き不透明感による民間設備投資の抑制などにより、国内外における受注競争は厳しい状況で推移しました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は21,539百万円（前年同四半期比9,530百万円減少）となりました。これを受注先別に見ますと官公需は9,955百万円

（前年同四半期比3,105百万円増加）、国内民需は4,264百万円（前年同四半期比389百万円増加）、外需は7,319百万円（前年同四半期比13,025百万円減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、17,221百万円（前年同四半期比553百万円減少）を計上いたしました。

利益面については、当第2四半期連結累計期間の営業損失は220百万円（前年同四半期は営業損失652百万円）となり、売上高営業利益率は△1.3%となりました。

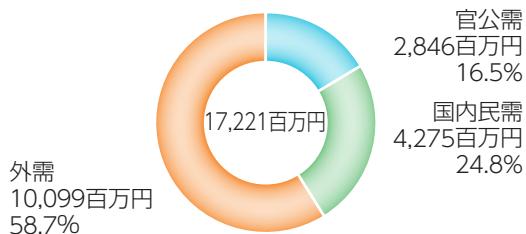
経常損失は、営業外費用として為替差損499百万円が発生した結果、576百万円（前年同四半期は経常損失880百万円）となり、売上高経常利益率は△3.3%となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失は、546百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失415百万円）となり、売上高四半期純利益率は△3.2%となりました。また、1株当たり四半期純損失金額は20.02円となりました。

通期の見通し

平成29年3月期の業績予想については、官公需及び国内民需は好調なものの、急激な円高と世界経済の低迷から外需が伸び悩んだことにより、受注高を40,000百万円に変更しましたが、売上高45,000百万円、営業利益2,000百万円、経常利益1,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,500百万円は当初計画通りとしています。

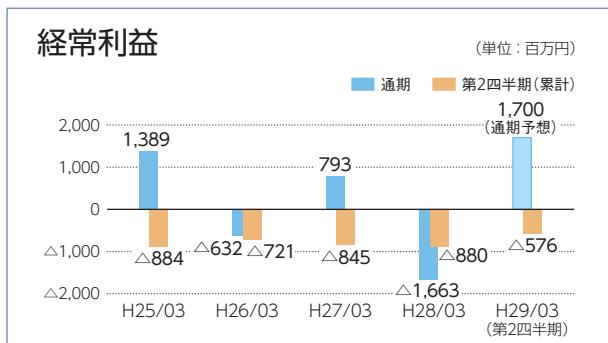
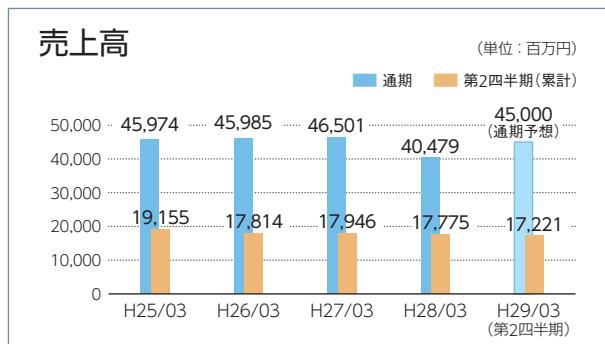
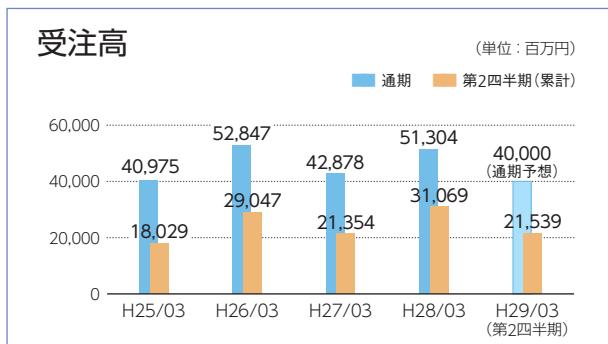
平成28年度第2四半期連結累計期間 需要先別の売上高構成比



平成28年度第2四半期連結累計期間 需要先別の受注高、受注残高 (単位: 百万円)

需要先	受注高	構成比 (%)	受注残高	構成比 (%)
官 公 需	9,955	46.2	19,815	36.9
国 内 民 需	4,264	19.8	5,587	10.4
外 需	7,319	34.0	28,322	52.7
計	21,539	100.0	53,725	100.0

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前第2四半期末 平成27年9月30日現在	前 期 末 平成28年3月31日現在	科目	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前第2四半期末 平成27年9月30日現在	前 期 末 平成28年3月31日現在
【資産の部】				【負債の部】			
流動資産	40,037	38,132	41,532	流動負債	18,848	18,882	22,128
現金及び預金	8,741	6,095	7,243	支払手形及び買掛金	6,328	5,481	8,264
受取手形及び売掛金	18,439	20,120	23,003	短期借入金	3,859	6,778	6,585
商品及び製品	244	267	266	未払法人税等	128	170	195
仕掛品	8,389	7,279	6,996	前受金	5,036	2,604	3,202
原材料及び貯蔵品	1,903	2,007	2,024	賞与引当金	762	723	742
前渡金	536	223	243	製品保証引当金	625	524	654
繰延税金資産	490	1,118	512	工事損失引当金	324	312	313
その他	1,528	1,192	1,597	その他	1,782	2,286	2,169
貸倒引当金	△ 235	△ 171	△ 355	固定負債	11,314	11,234	11,275
固定資産	20,897	27,950	24,665	長期借入金	9,772	9,866	9,724
有形固定資産	9,800	10,289	10,088	役員退職慰労引当金	15	14	14
無形固定資産	1,863	2,224	2,114	退職給付に係る負債	297	257	300
投資その他の資産	9,233	15,436	12,462	その他	1,229	1,095	1,236
投資有価証券	8,434	13,676	11,582	負債合計	30,163	30,117	33,403
その他	1,114	1,979	1,245	【純資産の部】			
貸倒引当金	△ 315	△ 219	△ 365	株主資本	28,681	31,901	29,455
資産合計	60,934	66,083	66,198	資本金	1,592	1,592	1,592
				資本剰余金	7,817	7,800	7,800
				利益剰余金	20,941	23,987	21,733
				自己株式	△ 1,670	△ 1,479	△ 1,671
				その他の包括利益累計額	1,560	3,527	2,755
				その他有価証券評価差額金	752	1,457	800
				繰延ヘッジ損益	312	△ 142	241
				為替換算調整勘定	282	1,514	1,523
				退職給付に係る調整累計額	213	697	190
				新株予約権	108	89	99
				非支配株主持分	420	446	483
				純資産合計	30,771	35,965	32,794
				負債純資産合計	60,934	66,083	66,198

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	前 期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
売上高	17,221	17,775	40,479
売上原価	13,249	14,184	31,287
売上総利益	3,972	3,590	9,191
販売費及び一般管理費	4,192	4,242	8,818
営業利益又は営業損失(△)	△ 220	△ 652	373
営業外収益	323	553	804
営業外費用	680	781	2,841
経常損失(△)	△ 576	△ 880	△ 1,663
特別利益	152	201	678
特別損失	35	86	430
税金等調整前四半期 (当期)純損失(△)	△ 460	△ 765	△ 1,415
法人税等	49	△ 257	976
四半期(当期)純損失(△)	△ 509	△ 507	△ 2,392
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	37	△ 92	29
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失(△)	△ 546	△ 415	△ 2,422

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

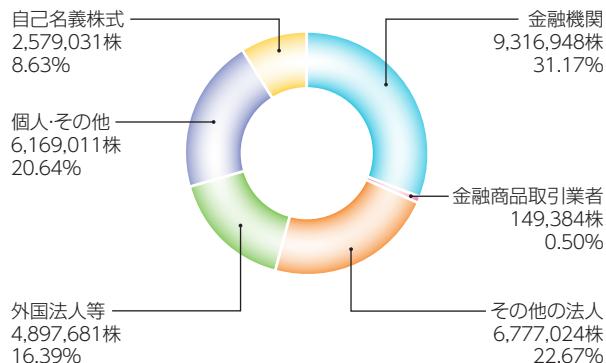
科 目	当第2四半期(累計) 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期(累計) 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	前 期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	3,305	2,285	5,000
投資活動による キャッシュ・フロー	1,556	149	△ 415
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,914	△ 786	△ 1,624
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 458	30	△ 92
現金及び現金同等物の 増加額	1,488	1,678	2,867
現金及び現金同等物の 期首残高	7,175	4,307	4,307
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	8,663	5,985	7,175

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要 (平成28年9月30日現在)

商号	株式会社 西島製作所
創業	大正8年8月1日
設立	昭和3年4月20日
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	29,889,079株
資本金	1,592,775,030円
株主数	6,749名
従業員数	868名
ホームページ	http://www.torishima.co.jp
事業所	
本社	大阪府高槻市宮田町一丁目1番8号
支社	東京
支店	大阪、九州（福岡市）、名古屋、札幌、仙台、 広島、高松、シンガポール、 中東（アラブ首長国連邦）、北米（アメリカ）
営業所	沖縄（浦添市）、佐賀、横浜、和歌山
出張所	宇部、熊本、徳島
海外事務所	北京（中国）、サウジアラビア
工場	本社工場（大阪府高槻市）、 九州工場（佐賀県武雄市）
海外工場	インドネシア、天津（中国）
主要な子会社	株式会社九州トリシマ 西島ポンプ香港有限公司 西島ポンプ（天津）有限公司 TORISHIMA SERVICE SOLUTIONS FZCO. PT. TORISHIMA GUNA ENGINEERING TORISHIMA PUMPS (INDIA) PRIVATE LTD.

所有者別株式分布状況



役員

代表取締役社長	原 田 耕 太 郎
代表取締役副社長	藤 川 博 道
取締役	久 島 哲 也
取締役	吉 川 宣 行
取締役(監査等委員:常勤)	福 田 豊
取締役(監査等委員)	津 田 晃
取締役(監査等委員)	伯 川 志 郎
取締役(監査等委員)	秋 山 洋

株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月下旬
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日、9月30日、その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株 主 名 簿 管 理 人 及 び 特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
公 告 の 方 法	電子公告により当社ウェブサイト (http://www.torishima.co.jp) に掲載します。ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

WEBサイトのご案内

当社のWEBサイトでは、「企業情報」「IR情報」「最新ニュース」といった基本情報はもちろん、「製品情報」「CSRの取り組み」など、株主の皆様へ当社のことを知っていただくための各種情報を発信しています。是非一度ご覧ください。

<http://www.torishima.co.jp>





株式会社 西島製作所

〒569-8660 大阪府高槻市宮田町一丁目1番8号
TEL 072-695-0551 (大代表)



この報告書を印刷する際の電力は
100%グリーン電力(風力)により
賄われています。